平成19年度　第1回予防接種運営委員会　会議録

日　　時	平成　19　年　6　月　5　日（火）　14：30～16：00
会　　場	医師会医療センター
出 席 者	委 員 長　　鈴木　紀元 副委員長 委　　員　　北井　明 委　　員　　河盛　重造 ・　　鶴林　泉 ・　　浅原　友美 ・　　伊田　義信 事 務 局　　健康課
会議の公表	■　公　開　　□　非公開　　□　部分公開 ＜非公開・部分公開とした場合の理由＞
傍聴者数	0　　人

1　議題

平成18年度予防接種事業実績について

平成19年度予防接種事業実施状況について

2　審査（議）内容

開会

（委員長）事務局，上記の議題についてその概要を説明してください。

（事務局）平成18年度予防接種事業実績について（説明）

（委員長）質疑はありませんか。

（委　員）二種混合(小学6年生)の接種率が低いが，患者発生はどうなっていますか？

（県委員）ジフテリア及び破傷風において，芦屋での発生報告はありません。

（委　員）二種混合の接種案内に免疫が低下する等の理由を掲載した方が良い。
日本脳炎予防接種は新薬の開発が進んでおらず，しばらく積極的勧奨の予定はない。夏季になると，日本脳炎患者の発生及び流行が懸念されます。

（事務局）現行の日本脳炎ワクチンは，医師が副反応についての説明をした上で，同意書を記入すれば接種可能です。

（委員長）事務局，平成19年度予防接種事業実施状況について(説明)

（委員長）質疑はありませんか。

（委　員）麻しんの流行により，予防接種希望者が殺到し，定期予防接種対象の1歳児に使用するMRワクチンも十分に供給できない状況にあります。成人の感染で死亡者はいないが，幼児では死亡する場合もあります。まずは定期予防接種者を優先的に考える必要があります。

(県委員) ワクチン不足から，市内の高校で麻しんの患者が6人発生していますが，患者との接触者にも，予防接種ができていない状況にあります。

（委　員）麻しんワクチン未接種，麻しん未罹患の者が麻しん患者と接触した場合は，麻しんワクチンを曝露72時間以内に接種することが望ましいです。今後ワクチンの確保について，行政が配慮していく必要があると思います。

(委員長)全会一致で了承ということで，よろしいか。

＜全員異議なし＞　　閉会